

『韓国語マスター1』

目次

レッスン 1 - 03 p	レッスン 16 - 123 p
レッスン 2 - 11 p	レッスン 17 - 130 p
レッスン 3 - 15 p	レッスン 18 - 135 p
レッスン 4 - 21 p	レッスン 19 - 143 p
レッスン 5 - 29 p	レッスン 20 - 168 p
レッスン 6 - 40 p	レッスン 21 - 179 p
レッスン 7 - 47 p	レッスン 22 - 183 p
レッスン 8 - 52 p	レッスン 23 - 187 p
レッスン 9 - 54 p	レッスン 24 - 192 p
レッスン 10 - 63 p	レッスン 25 - 195 p
レッスン 11 - 68 p	レッスン 26 - 198 p
レッスン 12 - 75 p	レッスン 27 - 199 p
レッスン 13 - 81 p	レッスン 28 - 207 p
レッスン 14 - 87 p	レッスン 29 - 214 p
レッスン 15 - 122 p	レッスン 30 - 222 p

はじめに。

韓国語マスター1はハングル文字の読み方の勉強を終了された方が、次のレベルとして韓国語の基礎知識を習得するための教材です。

教材のセット内容ですが、DVD教材と、このテキスト教材、そして3年間の無料サポートが1つのセットになっています。

学習方法ですが、各レッスンを最初から1つ1つ積み重ねていく方針になっていますので、必ずレッスン1から目を通してください。先にテキスト教材の内容に目を通してからDVD教材を視聴してもいいですし、反対に先にDVD教材を視聴してからテキスト教材に目を通していただいても大丈夫です。皆様のやりやすい方法で進めてください。

但し、DVD教材とテキスト教材はお互いを補助しあってはじめて効果を得ることができるようになっていますので、かならずセットで学習してください。

韓国語マスター教材の目指すところは、皆様の韓国語の基礎知識を最大限に充実させることです。初心者には絶対に必要な語彙力、文法力、会話力を総合的に伸ばすのがこの教材の根本的な目的ですが、同時に教材内の単語、構文にはハングル検定5級の指定単語、指定構文のすべてを含んで作成されていますので、ハングル検定試験対策としてもご活用いただけます。

韓国語マスター教材の単語は、初級レベルの方には是非覚えていただきたい単語ばかりなのですが、DVD教材の各レッスン末の単語の発音スライドにおいて、ハングル検定5級指定単語以外の単語を緑の文字で区別できるよう表示させていただきました。

また、この教材の最後の付録には、ハングル検定5級レベルの全単語リストとあいさつ文リストが掲載されていますので、こちらも習った知識の整理の際にお役立てください。

皆様がこの教材を学習することにより、しっかりとした韓国語の基礎知識を身につけられ、そして、韓国語学習の本当のたのしさを実感していただけるようになる事を心から祈っています。

鄭賢智、今本忠彦

レッスン1

韓国語のあいさつ

まず、下の例文をみてみましょう。

森さん： 안녕하세요.

李さん： 모리상입니까?

森さん： 예 저는 모리입니다.

李さん： 저는 이철수라고 합니다 .

森さん： 처음 뵙겠습니다.

李さん： 예 만나서 반갑습니다 .

森さん： 잘 부탁드립니다.

[訳文]

森さん： こんにちは。

李さん： 森さんですか？

森： はい。わたくしは森です。

李： わたくしは、イチョルスと申します。

森： はじめまして。

李： はい。お会いできてうれしいです。

森： よろしくお願ひします。

안녕하세요.

この表現は韓国語のあいさつで、『こんにちは』から『こんばんは』まで時間帯を気にせず幅広く使われているあいさつの言葉です。

안녕하세요.

より固い かしこまった丁寧な表現は、

안녕하십니까.

です。発音の注意点として、

안녕하^ㄹ십니까 ○で囲まれた비읍パッチムが鼻音化されて、実際は미음パッチムになっています。

よって、実際の発音は、 **안녕하십니까** となります。

【鼻音化】→7日でマスターするハングル文字の第6章参照

안녕하세요 という表現は **안녕하십니까** よりは少し打ち解けた表現になりますが、それでもかなり丁寧な表現です。通常はこちらの表現がより使われます。

仲のよい友達同士になると、안녕!

と表現してかなり近い感じを表現することもできます。

[例文]

1. 이 철수씨 안녕하십니까. 이 초ルスさん、こんにちは。

2. 모리상 안녕하세요. 森さん、こんにちは。

3. 히로시 안녕. 히로시 おっす!

[単語] 씨 = ~さん。 상 = 日本語の『さん』

相手の呼び方に見る日本文化と韓国文化の違い：

相手のことを呼ぶときに、日本では通常『~さん』といえばほとんどの場合はことは済みます。韓国の場合も大体は『씨』をつけて『~さん』とすればほとんどの場合は大丈夫なのですが、例えば皆様がある韓国の会社に入って、又は会社同士の取引などの場合で、相手にすでに社長、課長、次長などの役職がある場合は、かならずその役職名に、プラス、님 (さま) をつけて相手と呼ばなければなりません。

(例) 김 사장님(キム社長さま) 이 과장님(イ課長さま) 정 차장님(チョン次長さま)

役職のない先輩に対しては ~先輩、プラス、님 (さま) と呼ばなければなりません。

(例) 장 선배님 (チャン先輩さま)

もし彼らに『씨』を使えば、相手は『下のものから ~さんと呼ばれた』と不快感を感じます。

もう1つ気をつけなければならないシチュエーションとして、みなさまが韓国人を相手に商売をしているなら、お客様に対しても『~씨』という表現はさけましょう。その場合は『~선생님 (～先生さま)』と呼ばなければなりません。

相手が医者や弁護士や議員の先生である場合はもちろん『先生さま』と呼ばなければなりません。

日本でもかなりお偉い!? 先生方に、『~さん』と気安く呼べば、『誰に向かって“さん”と言っているのだ!』と不快に思われる方が、やはりいますよね。日本もそういう点では、やはりまだ儒教の思想が残っている部分があるのですが、韓国はその程度がまだまだ強いと考えてください。そして、韓国の場合は上下の関係の区別が日本より厳しいので、相手呼ぶときは特に気をつけなければなりません。

しかし、一般的には『~씨』をつければほとんどの場合は対応できます。

もし相手の役職等がわからない、またはかなり年配の方でどう呼んでいいのかわからない場合は、『저~(あの~)』→レッスン3という感じで、少しばかり申し訳なさそうな顔をして(笑)話しかけるのがBESTです。

저 わたくし

저 ですが、この単語は日本語では、『わたくし』という意味になります。

普通は、『나 = わたし』という単語が使われますが、『저=わたくし』という表現を使うとより自分をへりくだる表現になります。 よって、初対面のときは 저 を使用しましょう。

~입니다.

この表現 입니다は、『~です。』という意味になります。

発音はここも鼻音化されて、임니다と発音されます。

疑問形は『입니까?』となります。 韓国語では疑問文の場合は文末に必ず?マークが入ります。そして、通常の文章には必ずピリオド. が入ります。

[例文]

4. 나는 일본사람입니다. 私は日本人です。
5. 한국사람입니까? (대한민국) 韓国人ですか? (大韓民国)
6. 저는 일본사람입니다. わたくしは日本人です。

[単語] 일본=日本/ 사람=人/ 일본사람=日本の人 (日本人) / 한국=韓国/

대한민국=大韓民国/ 한국사람=韓国人 (韓国人)

는

日本語でいうと『～は 』にあたる助詞になります。

必ず覚えなければならないことは、

すぐ前に来る主語にパッチムがない場合は、

는

パッチムがある場合は、

은

になるということです。

[例文]

7. 저는 학생입니다. 私は 学生です。(パッチムなし)

8. 선생님은 남자입니다. 先生は 男です。(パッチムあり)

9. 모리상은 여자입니다. 森さんは、女です。(パッチムあり)

[単語] 학생=学生/ 선생님=先生/ 남자=男/ 여자=女

네 と 예

どちらも『はい』という表現です。

少し打ち解けた表現は네、通常はこちらが使われます。しかし、よりかしこまった感じを

出す場合は예をつかいましょう。

[例文]

10. 모리상은 여자입니까? 森さんは女ですか?

11. 네 여자입니다. はい、女です。

12. 예 여자입니다. はい、女です。

~(이)라고 합니다

この表現は、 ~입니다 (~です。) に対して、

라고 합니다. (~と 申します。)

という表現になります。

라고 の部分は、『~と』 を意味しますし、

합니다 の部分は、『申します』 を意味します。

[例文]

13. 저는 이토 입니다. わたくしは伊藤です。

14. 저는 이철수 라고 합니다. わたくしは 이철수と申します。

15. 저는 배용준이라고 합니다. わたくしは 배용준と申します。



(前にパッチムがあれば、이라고 합니다が使われる。)

처음 뵙겠습니다.

『はじめまして。』

この表現は決まり文句です。そのまま暗記しましょう。

[例文]

16. 저는 모리입니다. わたくしは森です。

17. 저는 이철수입니다. わたくしはイチョルスです。

18. 처음 뵙겠습니다. はじめまして。

만나서 반갑습니다 / 반가워요

これも決まり文句で、『お会いできて、うれしいです。』という意味になります。

반갑습니다. (합니다体/ハンミダタイ→レッスン 5 参照) 一番丁寧な形の表現方法。

반가워요. (해요体/へヨタイ→レッスン 14 参照) 합니다体よりは少しくだけた表現方法だが十分に丁寧な表現方法。通常はこちらが使われる。

[例文]

19. 이철수씨! 만나서 반갑습니다! 이チョルスさん お会いできてうれしいです。

20. 이철수씨! 만나서 반가워요! 이チョルスさん お会いできてうれしいです。

【합니다体 と 해요体】

韓国語も日本語と同じで、相手の年齢や位を見て言葉の表現方法を変えなければなりません。その中でも一番丁寧な表現の形が『합니다体』、そして、합니다体より少し打ち解けた形が『해요体』です。通常は해요体でも十分丁寧な言い方なので初めて会った人に対して해요体を使っても大丈夫です。但し、すごくかしこまった感じを出したければ（例えば会社の社長さんとの面談、すごく地位の高い人と話すとき、面接試験など）합니다体を使うのが無難でしょう。（但し通常の会話においてはすこし固すぎます。）

『합니다体』『해요体』に関しては、それぞれレッスン5とレッスン14で詳しく見ていきますので、今はわからなくても心配しないでください。但し、『합니다体』ハンミダタイ と 『해요体』ヘヨタイ という言葉だけは覚えておきましょう。

잘 부탁드립니다. (합니다体) / 잘 부탁해요. (해요体)

決まり文句で『よろしくお願いします。』という意味。

21. 저는 모리입니다.

22. 저는 이철수라고 합니다.

23. 잘 부탁드립니다.

レッスン2

李さん：모리상은 대학교 학생입니까?

森さん：아니요. 대학생이 아닙니다.

저는 의사입니다.

이철수씨는 고등학교 학생입니까?

李さん：아뇨. 고등학생이 아닙니다.

저는 회사원입니다 .

[訳文]

李さん：森さんは 大学校の学生ですか？

森さん：いいえ。大学生ではありません。わたくしは、医師です。

イチョルスさんは 高等学校の学生ですか？

李さん：いいえ。高等学生ではありません。

わたくしは 会社員です。

[単語] 대학교=大学校 (日本でいう総合大学) / 대학생=大学生 / 의사=医師 /

고등학교=高等学校 / 고등학생=高等学生 / 회사원=会社員

ヒント：漢字語とハングル。

韓国語は日本語と同じぐらいの割合で漢字語が含まれています。

日本語では漢字語には音読みがあったり、訓読みあったりしますが、韓国語ではそれぞれの漢字の発音が決まっています。

大=대	대	학	생	→	大学生	
学=학	고	교	생	→	高校生	
校=교	고	등	학	생	⇒	高等学生
生=생	회	원		→	会員	
高=고	학	회		→	学会	
等=등	교	회		→	教会	
会=회						
社=사						
員=원						
医=의	よって、ハングル文字と漢字の対応がわかれば、日本語の漢字語をそのままハングルにしてしまえば、ほとんどの言葉が通じてしまいます。					
師=사						
教=교						

日本語の漢字と一致していない例としては、친구=親旧→友達 / 공부=工夫→勉強 / 편지=便紙→手紙、などがありますが、ほとんどの場合は日本語の漢字語と一致していません。